

「労働条件・働き方」の改善へ学び行動する組合に

自治労連運動の基礎(要求・運動・組織、自治体労働者論、労働基本権、自治研活動など)を学ぶ



9月14・15日、県本部は「2024労働学校」を開催し、のべ10単組23人が参加。第1〜4講義を2日間にわたって開催し、24人事院勧告、給与のしくみ、労働時間・休暇、会計年度任用職員制度などを学習し、組織化も視野に入れたとらえ方を学習・交流しました。

■14日第1講義では「24人勤の特徴と給与制度のアップデート」について自治労連本部の西中央執行委員を講師に学習。今年の人事院勧告の内容と課題、「給与制度のアップデート」のねらい、会計年度任用職員制度との関係、人事院の今後のねらいなどの説明を受け、「給与制度のアップデート」は国家公務員に向けた制度であり、地域の実

自分の思い・悩みを語り合う「参加型学習活動」の実践

情に応じた給与制度を作らせる」など、自治労連がとりくむ『私たちの賃金プロジェクト』といった具体的な取り組みについても学習しました。

■第2講義では「給与制度のアップデートに対抗する愛媛の賃金闘争」として、県本部の森賀委員を講師に、給与決定の原則を学び、実際に県内市町の基準算格表も比較して、各単組の基準算格表を作成。「給与制度のアップデート」による新たな給料表との比較もを行い、初任給引上げや特別昇給による給料引上げの効果なども確認しました。初日終了後に参加者で交流会を行いました。

■15日の第3講義では「県下自治体の人員問題、労働時間、休暇」について県本部の堀川書記次長が、労働時間と休暇に関する単組一覧(県本部作成)などをもとに、休暇で要求前進した項目や課題に就いて資料を説明。「労働時間短縮II賃上げ」であり、客観的なデータに基づく全体の把握が時間管理上必要。「有給は権利であり、本来、職場の人員配置は休暇を完全に消化ができる配置が必要」「労働時間短縮・休暇取得ともに人員配置なしに解決しない」「労働安全衛生委員会を活用し労使ともに安心して働き続けられる自治体に」など基本的な権利等の事項を話し、各単組での課題や問題意識について交流。「有給等の電子申請が可能となり取得しやすくなった」「病休取得での診断書提出の有無」など意見を話しあいました。

■第4講義では「会計年度任用職員の労働条件改善に向けて」として、県本部の森賀委員長を講師として「会計年度任用職員の賃金等・労働条件」の説明を受け、A3用紙にまとめた「労働条件一覧」を見本に、各単組で同じ一覧表の作成を目標に、実際に作業をして資料を作成しました。

2日間また各講義を通じて、聞いて学ぶことにプラスして実際に作業することで身に付けることができ、組合が勝ちとつてきたことや労働条件に強い組合の重要性などを学び、労働条件と働き方を改善にとりくむ必要性を確認しあいました。



発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の購読料は組合員
のなかには含まれていません)

第572号

日程

【10月】

- 1 県自治体退職者の会総会・懇親会(松山市職労)
- 5 地方自治研究全国集会in愛知(〜6)
- 12 県本部拡大執行委員会
- 10 県自治体問題研究所理事会・研究例会
- 16 本部都市職・町村職部会秋季学習交流会(web)
- 25 自治労連共済実務研修会(大阪〜26)
- 27 自治体・公立病院労組全国交流会(〜28)

【11月】

- 4 保育・学童保育闘争推進意思統一集会
- 5 保育大集会・政府国会要請行動
- 16 はたらく女性の中央集会(岩手〜17)
- 23 地域医療を守る運動全国交流会
- 24 地方自治研究愛媛県集会(新居浜)
全労連国民春闘討論集会

第65回地方自治研究愛媛県集会在新居浜市

日時… 2024年11月24日(日) 10:00~16:00

スローガン… 「地方自治を住民の手に」(第1回集会から共通スローガン)

「持続可能な社会に向けてー地域、自治体でできることー◎国の政策、地方の模索、住民の目線から考えあう。」

会場… 「新居浜市立女性総合センター(新居浜ウィメンズプラザ)」

10:00~12:30 分科会 ①持続可能なまちづくり ②持続可能な社会と環境 ③医療介護 ④保育 ⑤青年講座

13:15~16:00 全体会 13:15~開会あいさつ・基調報告(ほか)

13:30~シンポジウム 《テーマ》「持続可能な社会のために(仮)」

コーディネーター兼パネリスト: 村田 武 先生(愛媛県自治体問題研究所)

パネリスト①「脱炭素社会への方針(仮)」越智 雅弘 さん(新居浜市職労)

②「食の安全・地産地消(仮)」村田 武 先生

③「ゴミの減量・水資源の循環(仮)」市町役場職員から報告

④「再生可能エネルギー(仮)」県中小企業家同友会 平野啓三さん

※集会参加者の質問意見、シンポジストの応答意見



《愛媛労連定期大会》

9月7日、愛媛労連は第36回定期大会を開催し70人が参加。議長の1人に山内さん(西条市職労)を選出し議事を進行。今井愛媛労連議長は「愛媛を最底賃金が59円引き上げ956円となる。地域で働き続けられる賃金・労働条件をめざそう。西予での病院施設民営化の強行は医療・福祉・教育の切り捨て、公共を取り戻し住み続けられる地域をつくらう」などあいさつ。続いて「23年度活動経過・会計決算・監査報告」「24年度運動方針案・財政方針案・予算案」を報告・提案。■討論では、自治労連から内子町職・力石さんが「24人勤の評価と自治労連の秋季年末とりくみ方針、自治研集会」について発言。西予

職場・地域から声をあげ 「地域ならではの公共」拡充を



《自治労連定期大会》

市職労・堀田さんが「西予市立病院・介護施設の民営化が7月議会で1票差で可決。これまで3回の学習会等、組合員の意見を聞き活動を進めてきた。来年3月に分限免職・解雇される職員が約400人。責任がない医療介護職員が解雇され、不利益を被ることは納得できない。職場で要求活動と団結を強め、地域で住民と共同し、処遇改善と公共を取りもどす運動を追求する」など訴えました。討論の後、すべての議案を承認・採択し団結カンパニーで閉会しました。

いのち・人権が尊重され、憲法・地方自治がいきる社会実現を

8月25〜26日の2日間、自治労連第46回定期大会が茨城県つくば市で開かれ、熱心な討論を行い運動方針等を決定。「戦争国家づくりを許さず、一人ひとりが尊重される憲法と地方自治がいきる社会を。働きがいと魅力ある職場・自治体をつくり、公共を国民・住民の手に取り戻そう。③『給与制度のアップデート』とたまたかい、すべての労働者の大幅賃上げと格差解消をはかる。④職場を基礎に全員参加で、要求闘争と組織化を一体でたたく自治労連を強く大きくしよう。」で運動を進める方針等確立しました。

■愛媛からは森賀県本部委員長「西予市立2病院1施設の指定管理者制度導入に対する西予市職労・愛媛県本部の公共を取りもどす運動」、山内県本部副委員長「24人勤の愛媛での評価と県本部秋季年末闘争方針、本部への地方からの要望」の2人が発言。■24日(土)は事前会議に愛媛から青年部、現業評、非正規公共評、都市職部会、医療部会、書記部会の定期大会・総会に参加しました。

【伊予】新体制初の執行委員会で

要求改善実現への方法を議論



伊予市職労は、9月5日昼休みに執行委員会を開催し12人が参加。新体制初の執行委員会で今年の年間活動、執行部のチーム編成などを確認し、当面のとりにくみについて議論。「職場懇談会」を年次別・階級別開催でより意見が聞きやすくなるの

【西予】近場の穴場で「ぶどう狩り」開催

家族ぐるみで「地元の魅力」再発見



西予市職労は8月24日、コロナ禍以降5年ぶりのレク企画として「ぶどう狩り」を実施し、組合員と家族41人が参加。安部田委員長の地元・宇和町下川の観光農園は、ぶどうの最盛期を迎え、糖度にこだわった13種類ほどのぶどうが栽培されています。「ぶどう狩りは初

【内子】会計年度職員要求前進

内子「組合説明会」を開催



9月4日に内子町職は「会計年度任用職員組合説明会」を計画し、そのために会計年度職員の組合員勧誘を実施しました。昨年度中に会計年度職員の大規模待遇改善（12月議会での4月適及、勤勉手当の支給）を実施させたことで組合交渉が大切

ではといった意見が出され、チームでさらに議論することとしました。また要求・団体交渉と意見交換会の開催では、実際に解決につながる方法や持ち方はどうすればいいかについてチームで検討としました。その他、女性部の研修への助成、書記の業務と役員業務などについても報告がありました。

めて」という人も多いため、ぶどう棚から摘んだもぎたてぶどうをほおばり、「甘い」「おいしい」の声が飛び交っていました。ぶどうを堪能した後、抽選会も行い、子どもたちの笑顔はさらに満足したものになりました。参加者から「家族みんな大満足だった。また行きたい」「まさに近場の穴場だった」などの感想があり、地元西予市の魅力の再発見にもなりました。

を中心とした横のつながりを広げる組合活動をしていることなどを伝える宣伝チラシを作成し、執行委員全員で会計年度職員114人に配布し組合員勧誘を行いました。9月4日には「会計年度職員組合説明会」を行い、給料と特別休暇の学習会を行い、内子町職の楽しい活動をお知らせ。組合のいいところをたくさん伝え盛んに勧誘活動ができました。

【西条】定期大会で成果確認。賃上げ、

条より良い職場めざす方針確立



西条市職労は8月28日、定期大会を開催。県本部から来賓として森賀委員長が24人勧の内容にも触れ、激励のあいさつ。経過報告では「職員会館取り壊しに伴う組合事務所支所への移転」や成果として「通院継続に対する病気休暇の拡大」、保育部会の「子どもたちにもう一人保育士をの活動」などが報告されました。

【松山】会計年度職員4人組合加入

12月給与改定協議申し入れ



松山市職労は9月11日、執行委員会を開催し11人が参加。職場状況では、8月末の台風で清掃課などの職場待機があり、ゴミ飛散対策で市内全域パトロール実施を報告。また来年度の現業正規職員採用で、昨年を上回る人数の採用予定など報告がありました。活動経過で

【今治水道】中央行動で全国の活動成果実感

24人勧学習し今後の活動協議



今治水道労組は8月20日、執行委員会を開催し6人が参加。活動経過では、7/24中央行動参加者が「とにかく暑く、過去にない気温と参加者の熱気を感じた。人事院職員が署名を受け取る場面があり、全国の活動の成果を実感した」と報告。

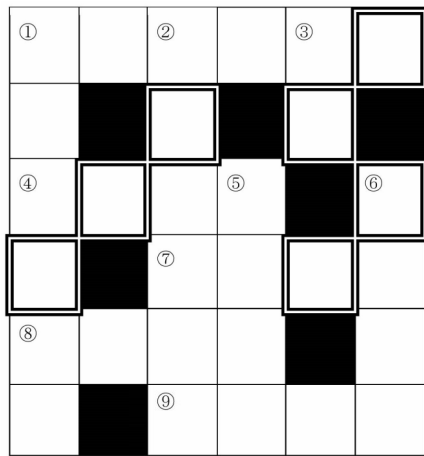
マス目を埋め、二重枠の7文字で「比べ物にならない」のことわざにして下さい。

【ヨコのカギ】

- ①結婚50周年を祝う式
- ④よく話して、相手に納得させること。○○○○力
- ⑦中国から伝わった医術。○○○○薬
- ⑧(英語)方法、方式、手段
- ⑨はっきり区別して扱うこと。格別。○○○○扱い

【タテのカギ】

- ①(四字熟語)立場や主張がはっきりしていること
- ②経費を切り詰めること。費用削減
- ③金銭・物品などの支出目的。○○不明の金
- ⑤○○○○⇔音読
- ⑥世間一般に通用している説



出題者 堀川孝行

■570号のバズルの答えは「シブサウェイイチ」(渋沢栄一)でした。正解は12通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

新城 美希(宇和島)
杉田真由美(新居浜)
後島 千春(明浜)
矢野 佳代(西条)
貝崎美都志(松山)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載
【締切り】10月27日【発表】574号(11月号)

おたより ありがとう

■この夏、私にとって最後の部会旅行。退職を控え仲間との楽しい時間が心にくつときます。みんなありがとう。(西条・矢野)

■8月の連休にマイカーで旅行した時のこと、知らぬ土地を走行中に突然カーナビがフリーズして焦りました。何とか無事帰宅できたもののカーナビだけでも買い替える

べきか悩んでおります。(新居浜・大坪)

■新紙幣に使われている技術に驚いています。旧紙幣にも愛着があるので、時代は変わっていきませぬ。(松山・貝崎)

■渋沢栄一は女性関係にだらしなかつたらしく、結婚式の祝儀に渋沢栄一のお札はマナー違反という情報が回ってきました。今は旧札が残ってますけど今後どうすればいいのでしょうか。デマですよね？(宇和島・青木)

■夫の実家へ帰り、冷たい麦茶を飲みながら甲子園を見、昼に義母が作ってくれたそうめんといなり寿司を食べた翌日。遊びに行った弟の家で母が用意した昼食は、これまたそうめんといなり寿司……！そういう学生時代の頃は給食と夕食のメニューがかわることも多かったなあ、などと思いつつ母の手料理のありがたさとともに「夏」を感じた休日でした。(新居浜・大西)